

総合評価

【達成状況】

学生・教職員一同、教育理念、教育目標を理解しており、学生の夢を形にできるよう授業や進路・生活指導を行っている。学生募集には強い意識を持ち、質の高い学生を選抜し、学校のブランド力を高めるよう心掛けている。また、入学前に公開できる情報はすべて提供し、主な学生の母国語にも対応し、入学後に矛盾が生じないように努めている。

授業は教務主任を中心にコースカリキュラムを作成し、レベル担当がより細かいスケジュールを組み、担任制で日々詳細な引継ぎを行いながら進めている。学生の成績等も学校システムを利用し、適切に記録・管理している。学生の卒業後の進路については、進学課を中心に進学相談や説明会、SNSでの情報提供など手厚い進学指導を行い、十分な成果を上げている。生活指導・支援に関しても、日本の入管法や生活マナーの説明を入学時のみならず、各学期始めや学期末にも行い、遵守させるよう心がけ、トラブルが起こらないように運営できている。

授業外でのイベントとしては、漢字に不慣れな学生へ漢字勉強会を実施したり、進学先が決定した学生らが同じ国籍の学生を集めて進学活動の心得などの説明会を多数開くなど、学生をサポートする機会の充実を図っている。また外部の大学生との交流や企業、団体などを通して、スポーツ観戦や演奏会、日本の伝統芸能などのイベントを多数紹介、実演したりして、好評を得ている。一方、教員のブラッシュアップ研修なども複数回開催し、より良い教育サービスが行えるよう試みを続けている。

また、より快適な教育環境、労働環境を提供するために、弁護士や、税理士、社労士、産業医等と顧問契約を締結し、常に専門家の意見を聞きながら運営を行っている。

【課題・改善計画等】

HPや募集要項などは、学生の国籍の多様化に合わせ、より多くの言語に対応できるよう、外国人スタッフを昨年度より更に増員した。一方で不足している言語については更なる充実を図っていく。授業に関しては、教員の授業評価や研修を充実させ、各人が様々なレベルを担当できるように体制を整える。また学生による授業評価の分析を行い、授業計画の改善に繋げていく。

生活指導では担当制を学生の側にもより明確にしていくなど、学生のニーズに、より柔軟かつ迅速に対応できるよう管理体制を強化していきたい。

会社としては各種規定の整備、顧問弁護士との相談など、コンプライアンスを意識して実務を行っているが、それを教職員レベルにまで教育する取り組みは行えていない。今後は外部委託研修なども利用して意識を高めていきたい。

自己点検評価票

日本語教育機関名：エリート日本語学校

点検・評価項目	確認・評価	エビデンス	課題・改善策等
1. 理念・教育目標	A B C		
1.1 理念・目的を定め、教職員、学生、及び、社会に公表している。	A	HPなど外部広報資料	
1.2 教育目標を定め、教職員、学生、及び、社会に公表している。	A		
1.3 育成する人材像を定め、教職員、学生、及び、社会に公表している。	A		
1.4 理念、教育目標が社会の要請に合致していることを確認している。	A		
2. 学校運営	A B C		
2.1 日本語教育機関の告示基準に適合している。	A	日振協の実地審査より告示基準適合証明を受けている	
2.2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	B	一部分の目標周知にとどまっている	
2.3 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A	各種規定、幹部会議事録	
2.4 意志決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	B	組織図、業務分掌、実務者会議議事録	
2.5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	C	予算案、執行権の見直しを今後作成する	
2.6 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	A	社内連絡ツールGaroon	
2.7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	A	入学案内、ホームページ、現地留学フェア	
2.8 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A	社内連絡ツールGaroon	
2.9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	B	自己点検記録	

3. 教育活動の計画	A B C	
3.1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A	入学案内、レベル別資料
3.2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A	教員会議資料
3.3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている	A	教員会議資料（「レベル別カリキュラムおよび教材一覧」）
3.4 教育目標に合致した教材を選定している。	A	教員会議資料（「レベル別カリキュラムおよび教材一覧」）
3.5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	B	著作権法に留意し、コピー教材廃止に向けて準備中動（25年度から完全廃止）
3.6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A	分科会資料、研修資料、授業記録簿
3.7 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A	教員面談、勤務希望により決定
4. 教育活動の実施	A B C	
4.1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A	新入生…プレースメントテスト実施、記録、結果 在校生…進級調査表、期末試験
4.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A	レベル別資料（授業の進め方）、分科会資料
4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。	A	「授業の進め方」、分科会に周知
4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	A	「授業記録」に記録、保管
4.5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	A	課テスト、期末試験を実施
4.6 学生の自己評価を把握している。	B	試験のフィードバックのみ
4.7 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	B	担当者は未決定。指導、支援は行っている
5. 成績判定と授業評価	A B C	
5.1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	A	オリエンテーション、教室内掲示物で周知
5.2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A	成績表の配布を実施
5.3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	B	課題点の整理にとどまっている
5.4 主任教員による授業評価を定期的実施している。	B	新任講師や特定の講師にとどまっている
5.5 評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。	B	5.3による
5.6 学生による授業評価を定期的実施している。	A	学期末授業アンケートを実施している
5.7 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	B	一部の講師のみにとどまる
6. 教育活動を担う教職員	A B C	
6.1 校長、主任教員、本務等教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	就業マニュアル
6.2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	B	就業マニュアル
6.3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A	HPや採用説明会で明示
6.4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組みをしている。	A	1学期に1回の頻度で教員研修を行っている
6.5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	B	教員会議、就業マニュアルにて周知
6.6 教員及び職員の評価を適切に行っている。	B	人事評価シート
6.7 教職員の業務量が適切に割り振られている。	B	業務分掌
7. 教育成果	A B C	
7.1 入学から修了までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A	WSDBにて記録
7.2 修了の判定を適切に行っている。	A	WSDBにて記録
7.3 日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A	学生からの提出物
7.4 修了後の進路を把握している。	A	ファイルメーカー、WSDB、進学実績集計表
7.5 修了生の状況を把握するための取組みを行い、進学先等での状況や社会的評価を把握している。	B	組織的にまとめている体制にはなっていない
8. 学生支援	A B C	
8.1 学生支援計画を策定し、支援体制を整備している。	B	オリエンテーション資料

生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	B	業務担当表、オリエンテーション資料	
8.3 日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。	A	オリエンテーション資料	
8.4 留学生生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的実施している。	A	オリエンテーション資料、学期休み前の資料	
8.5 住居支援を行っている。	A	HP、学校案内	
8.6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A	個人調査票、面談記録	
8.7 健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A	衛生委員会議事録、結核検診資料、伝染病対応内規	
8.8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、またその状況を管理している。	A	国保コピー（マイナンバーカード提示）	
8.9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A	各種規定	
8.10 交通事故等の相談体制を整備している。	A	ライン緊急グループ、顧問弁護士	
8.11 危機管理体制を整備している。	A	防災マニュアル	
8.12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。	A	避難訓練実施要項、防災マニュアル	
8.13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	A	オリエンテーション、就業マニュアル、HP	
9. 進路に関する支援	A B C		
9.1 進路指導担当者を特定している。	A	業務分掌 進路指導マニュアル	
9.2 学生の希望する進路を把握している。	A	個人調査票、面談記録	
9.3 進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A	進学説明会資料 進学掲示板	
9.4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。	A	個人調査票、面談記録	
9.5 学生が進学後のイメージを具体化できるよう、外部と連携した取り組みを行っている。	A	進学説明会資料	
10. 入国・在留に関する指導及び支援	A B C		
10.1 入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	業務分掌	
10.2 担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	A	社内SNS、研修記録	
10.3 出入国在留管理庁により認められた申請等取次者を配置している。	A	業務担当表、人事簿、人事システム、取次証	
10.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A	オリエンテーション資料、クラスオリエンテーション資料	
10.5 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A	個人調査票、面談記録、学校システム	
10.6 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	A	面談記録	
10.7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A	オリエンテーション資料、個人調査票、面談記録	
10.8 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	A	適正校通知	
11. 教育環境	A B C		
11.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A	1号館の換気が十分ではないことがあり、サーキュレーターで対応している	
11.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	B	学生数によって常時確保が難しい面がある	
11.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A	利用可能である	
11.4 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A	電子黒板、PC使用を認めルールを策定している	
11.5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A	教職員室の完備	
11.6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	B	他の階も案内し、利用できるよう留意している。	
11.7 法令上必要な設備等を備えている。	A	ハイジア12階平面図	
11.8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A	ハイジア12階平面図	
12. 入学者の募集と選考	A B C		
12.1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A	募集計画、事業計画書	
12.2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A	問い合わせ対応記録、留学フェア参加記録	
12.3 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A	HP、学校案内、募集要項	
12.4 海外の募集代理人（エージェンツ等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A	募集代理人一覧、エージェンツ対応記録	

12.5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A	入学者面接記録	
12.6 学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A	入学願書、申請書類、入学者面接記録	
12.7 入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A	入学願書、申請書類、入学者面接記録	
12.8 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A	HP. 募集要項	
12.9 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A	返金規定、HP	
13. 財務	A B C		
13.1 財務状況は、中長期的に安定している。	A	予算書、決算書	
13.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A	予算書、決算書	
13.3 適正な会計監査が実施されている。	A	税務監査	
14. 法令遵守	A B C		
14.1 法令遵守に関する担当者を特定している。	A	顧問弁護士	
14.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	B	研修記録	
14.3 個人情報保護のための対策をとっている。	A	美化ん箱、キャビネット	
14.4 出入国在留管理庁、関係官庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A	各報告記録	
15. 地域貢献・社会貢献	A B C		
15.1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	B	登録日本語教員のための研修を行った	
15.2 学生ボランティア活動への支援を行っている。	C	未達成。近隣の小学校などと連携してボランティア活動を検討している	
15.3 学生が地域や日本社会を理解するための支援を行っている。	B	早稲田大学国際学生友好会、クリアソン新宿との交流の機会を持ち参加を呼び掛けている。	
15.4 地域のイベントに学生や教職員が積極的に参加し、貢献している。	B	ビル内で開催されるイベントに参加している	

評価方法

- ・A：「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B：「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。
- ・C：「未達成」あるいは「適合していない」項目。